

令和7年3月18日

道路局企画課

国連との共同で「質の高い道路インフラ整備に関する国際ワークショップ」を初開催

～気候変動と老朽化の潮流を踏まえ、持続可能で強靱な道路整備の重要性をPR～

令和7年3月4日から6日にかけて、国連大学において、国土交通省は国際連合地域開発センター（UNCRD）と「質の高い道路インフラ整備に関する国際ワークショップ」を初めて開催しました。本ワークショップはアジア太平洋・アフリカ地域等における質の高い道路インフラへの理解増進等を目的としており、12か国から道路分野の高官・行政官が参加し、先進技術等に関するセッションや現場見学に加え、活発な意見交換・知見共有を行いました。

今後も、国土交通省は質の高い道路インフラの海外展開の取り組みを推進していきます。

本ワークショップは、アジア太平洋地域等における質の高い道路インフラへの理解増進等を目的としているUNCRDとの共同プロジェクトとして、初めて開催を行ったものになります。

■ワークショップの結果概要

（１）開催日：令和7年3月4日（火）から6日（木）の3日間

（２）場 所：国連大学

（３）開催者：国土交通省、UNCRD

（４）参加者：12か国（※）の道路分野の高官・行政官

※カンボジア、キルギス、ケニア、タイ、トルコ、ネパール、バングラデシュ、
フィジー、フィリピン、マレーシア、モンゴル、ラオス

（５）議事次第（詳細は別紙をご参照ください）

（１日目）

1. オープニングセッション（国土交通省技監 廣瀬 昌由、UNCRD所長 村田 重雄 氏、
DSDG/USDESAチーフ Astra Bonini氏）
2. 基調講演（東海学園大学卓越教授、世界交通学会前会長 林 良嗣 氏）
3. 各国参加者によるプレゼンテーション、ラウンドディスカッション
4. グリーンな道路インフラへのファイナンスに関するセッション（ADB、JICA）

（２日目）

1. 道路舗装の先進技術に関するセッション（日本道路建設業協会）
2. コンクリート構造の先進技術に関するセッション
（プレストレスト・コンクリート建設業協会）
3. 現場見学会（東京外環自動車道 大泉JCT等）

（３日目）

1. 鋼橋の先進技術に関するセッション（日本橋梁建設協会）
2. 高速道路の先進的な運営・維持管理に関するセッション（NEXCO 3社）
3. 国土交通省特別セッション（国土交通省道路局企画課国際室長 永尾 慎一郎）
4. クロージング（大臣官房審議官（技術・道路）橋本 雅道、UNCRD所長 村田 重雄 氏）

【問い合わせ先】

道路局 企画課 国際室 仲谷、権代

電 話 03-5253-8111（内線：37542）、直通 03-5253-8906



■ワークショップの結果

(1日目)

1. オープニングセッション
 - ・ UNCRD村田所長より、就任挨拶と併せて本ワークショップの開会宣言がなされました。
 - ・ DSDG/USDESAチーフ Astra Bonini氏より、本ワークショップの趣旨について説明がありました。
 - ・ 廣瀬技監は、質の高い道路インフラの重要性を強調し、本ワークショップへの期待を述べました。
2. 基調講演（東海学園大学卓越教授、世界交通学会前会長 林 良嗣 氏）
 - ・ 環境サステナビリティ、災害レジリエンス、都市の発展段階、スマートグロース／スマートシュリンクを視野に入れ、SDGsの「誰も取り残さない」の評価を可能とする「国全体のGDPから個人のQOLへの転換」の時代認識に基づいて、空間整序とQOLを保証する”Quality Road As A System”の新概念が提唱されました。
3. 各国参加者によるプレゼンテーション、ラウンドテーブルディスカッション
 - ・ 各国参加者より、それぞれが抱える道路分野の課題等について情報共有がありました。
4. グリーンな道路インフラへのファイナンスに関するセッション（ADB、JICA）
 - ・ ADBより、持続可能で環境に優しい道路の開発と維持管理に寄与する技術、知見の共有を目的としたベストプラクティス集「Green Roads Toolkit」の取り組みについて紹介がありました。
 - ・ JICAより、島嶼国や積雪寒冷地における気候変動の影響を考慮した、質の高い道路インフラ整備への協力等について知見共有がありました。

(2日目)

1. 道路舗装の先進技術に関するセッション（日本道路建設業協会）
 - ・ 大成ロテックより、資源循環や低炭素化に役立つ再生アスファルト舗装等について知見共有がありました。
 - ・ NIPPOより、低騒音・遮熱性舗装といった環境に優しい舗装技術等について知見共有がありました。
 - ・ 日本道路より、バイオ炭アスファルトなどの脱炭素に向けた舗装材料の開発等について知見共有がありました。
 - ・ 前田道路より、水で固まる常温アスファルト舗装材等について知見共有がありました。
 - ・ ガイアートより、排水・防水といった多機能で高耐久な舗装の新技术等について知見共有がありました。
 - ・ 酒井重工業より、ロードスタビライザーや路上路盤再生技術等について知見共有がありました。
2. コンクリート構造の先進技術に関するセッション
(プレストレスト・コンクリート建設業協会)
 - ・ 鹿島建設より、鋼コンクリート複合構造の河内川橋工事について知見共有がありました。
 - ・ 三井住友建設より、エクストラドーズド橋を採用した中津川橋工事について知見共有がありました。
3. 現場見学会（東京外環自動車道 大泉JCT等）
 - ・ 橋梁上部工やシールドトンネルマシンなどの本邦技術等について現場視察を行いました。

(3日目)

1. 鋼橋の先進技術に関するセッション（日本橋梁建設協会）

- ・横河ブリッジより、鋼橋についての先端的な本邦技術等について知見共有がありました。

2. 高速道路の先進的な運営・維持管理に関するセッション（NEXCO 3社）

- ・NEXCO中日本より、高速道路O&Mの概要やトンネル設備等について知見共有がありました。
- ・NEXCO西日本より、橋梁点検や更新プロジェクト等について知見共有がありました。
- ・NEXCO東日本より、降雨状況を踏まえた交通規制等について知見共有がありました。

3. 国土交通省特別セッション（国土交通省道路局企画課国際室長 永尾 慎一郎）

- ・持続可能で強靱な道路ネットワークを構築するにあたり、先端技術を導入していくための国土交通省の取り組みについて知見共有をしました（総合評価制度など）。

4. クロージング

- ・橋本審議官は、国土交通省と国連地域開発センターが共同開催した本セミナーで得られた知見が、参加されたアジア太平洋・アフリカ地域等の国々との連携により、各国の政策立案に役立っていくことについて期待を述べました。
- ・UNCRD村田所長より、本ワークショップの参加者への感謝を述べて閉会が宣言をされました。



開会挨拶（UNCRD 所長 村田 重雄 氏）



開会挨拶（国土交通省技監 廣瀬 昌由）



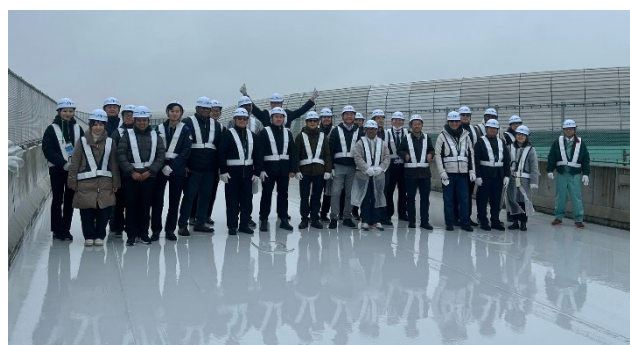
基調講演（東海学園大学卓越教授、
世界交通学会前会長 林 良嗣氏）



オープニングセッション集合写真



ラウンドテーブルディスカッションの様子



現場見学会（東京外環自動車道 大泉 JCT）



国土交通省特別セッション
(道路局企画課国際室長 永尾 慎一郎)



閉会挨拶（国土交通省
大臣官房審議官（技術・道路） 橋本 雅道）



閉会挨拶（UNCRD 所長 村田 重雄 氏）